

科目名	幼児の健康				担当	堤 裕美		
形態	講義	単位数	1	開講時期	1 年前期	実務経験	—	
必修	卒業：必修 幼免：必修				ナンバリング	Y1201	DPとの関連	2
授業概要	領域「健康」の指導に関する、幼児の心身の発達、基本的な生活習慣、安全な生活、環境を通じた運動発達などの専門的事項についての知識を身に付ける。							
到達目標 学習成果	1. 幼児期の身体機能の発達の特徴と生活習慣の形成過程を理解し、大人の関わりや環境構成の影響について説明できる 2. 幼児期の運動発達の特徴と現代的な課題について討議を通して理解を深め、怪我や病気の予防としての安全教育の在り方について様々な角度から考察する							
授業計画	回	内容						
	1	ガイダンス： 現代社会の子どもの育ちについて「健康」領域の側面から解説する						
	2	領域「健康」のねらいと内容：子どもの姿と照らし合わせて領域「健康」の側面からの子どもの身体機能の発達の特徴を捉える						
	3	生活習慣の獲得過程における配慮：生活習慣の獲得過程について視覚教材を用いて実際の子どもの姿と保育者の関わりから考察する						
	4	生活習慣の形成と現代的課題：幼児の生活習慣の獲得過程について学び、現代の生活スタイルとも照らし合わせグループディスカッションを通して現代的な課題を考察する						
	5	子どもの健康と安全管理：子どもの怪我や事故事例と特徴について学ぶ						
	6	子どもへの安全管理と安全指導：子どもの活動に必要な安全管理と安全指導及び安全教育について視覚教材を用いてそれぞれの違いを理解する						
	7	運動遊びの意義と環境構成：幼児期の多様な動きの獲得を促す環境づくりについて視覚教材を用いてイメージを広げる						
	7.5	安全管理や環境構成の視点：「子どもの体づくり」における授業実践における気づきの共有を通して安全管理、環境構成の意義について理解を深める						
評価基準	1. 幼児期の身体機能の発達の特徴と生活習慣の形成過程を理解し、大人の関わりや環境構成の影響について説明できるか 2. 幼児期の運動発達の特徴と現代的な課題について討議を通して理解を深め、さらに怪我や病気の予防としての安全教育の在り方についても自身の意見を説明できるか							
評価方法	授業態度 30% 授業内課題 70% (生活習慣の獲得 20% 安全管理と安全指導 20% 運動遊びのための環境構成 30%)							
フィードバック 方法	授業内課題を返却し、内容を学生間で共有する							
アクティブ ラーニング	視覚教材や具体的な事例を用いてグループワークを行う							
教科書	事例で学ぶ保育内容領域「健康」（無藤隆監修 萌文書林） 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領 幼稚園教育要領 保育所保育指針原本』（平成29年6月告示 内閣府・文部科学省・厚生労働省）							
参考書	授業時に適宜資料を配布する							
履修条件	子どもたちがおかれている様々な状況を日常生活の中で目にする子どもたちの姿から想像し、現代の子どもたちの健やかな心身の発達について各自の考えをもっていること。							
授業外学習	事前学習：自身の幼少期の発育の特徴を母子手帳から確認しておくこと 事後学習：授業内での教材研究や討議を通して友人の考えや意見を聞き、整理し記録しておくこと							
オフィスアワー	学生支援課の掲示板に掲示する							